

大莞小学校の教育目標：「自分たちで伝え合う子どもの育成」



ゆうかり

大木町立大莞小学校
三瀨郡大木町奥牟田 250
TEL32-1504 FAX75-8163
Email:ooisyo@kumin.ne.jp

学校だより No. 39 令和 2年 11月 1日 校長 荒巻 隆子

☆ ゴールに向かって、まっしぐら！！ ☆



10月24日(土)は、運動会が行われました。新型コロナウイルス感染予防のために、出場種目を減らしたり適切な距離を保ちながら行える方法を工夫したりして、来校者を制限しながらの午前中開催でした。一時は、運動会開催も危ぶまれましたが、無事に開催できたのは、地域や保護者の皆様のご協力のお陰です。大莞若獅子纏太鼓も消防団の皆様のご指導のお陰で開催することができました。ありがとうございました。

子どもたちの一生懸命な姿や笑顔を見られたことは、大きな喜びであり、多くの方々の支えや応援を感じられた運動会でした。

優しさがつまった絵本の寄贈

絵本の読み聞かせをされていた昨年度卒業生のお母さんより“ひめちゃんのマスク”という絵本を頂きました。本の内容は、中学生の女の子が実際に行った話です。コロナ禍で学校が休校になった時、いろんところで「マスクが足りなくなって困っている」というニュースを見た女の子が、自分の貯金を使って材料を買い、一枚一枚マスクを手作りしプレゼントをしたというお話です。主人公の「誰かのために何かをしたい」という素直な気持ちやそれを家族みんなが支える優しさを感じて、心が温かくなりました。

寄贈していただいた荒巻さんは、こんな心を持った子どもたちがもっと増えてほしいと思われたことでしょうか。ありがとうございました。図書館に置いてありますので、手に取ってみてください。



プロ車椅子バスケット “ライジングゼファーフクオカ” 来校



10月23日（金）にプロの車椅子バスケット “ライジングゼファーフクオカ” のお二人を招いて障がいスポーツへの取組や生き方に触れることができました。車椅子体験として一緒にゲームをしたりそれぞれの選手へインタビューをしたりしました。選手の前向きな姿勢と相手を引きつける話術で、子どもたちの心はわしづかみにされました。予定の時刻を過ぎ

ても子どもたちは、二人の選手から離れようとしませんでした。ついには、選手の帰る姿をベランダからいつまでも手を振って見ていました。

5年生は、“ライジングゼファーフクオカ” のお二人の願いを受け、この学習で学んだことをまとめ、学校のみんなへの発信をしていくことになるでしょう。

1188 (いい母いいパパ) の会

10月18日（日）に1188の会で黒枝豆収穫を行いました。保護者10名、子どもたち10名が、学童農園に集合して、豆を収穫しコミセンに移動してゆがいで食べました。大人も子どもも一緒になって汗を流し、収穫の喜びを分かち合うことは、子どもたちの心の成長のためにはとても良いことです。会員の皆様のお陰でとてもよい機会になりました。ありがとうございました。



※「学校だより」についてのご意見・ご感想がありましたら、学校までよろしくお願いします。